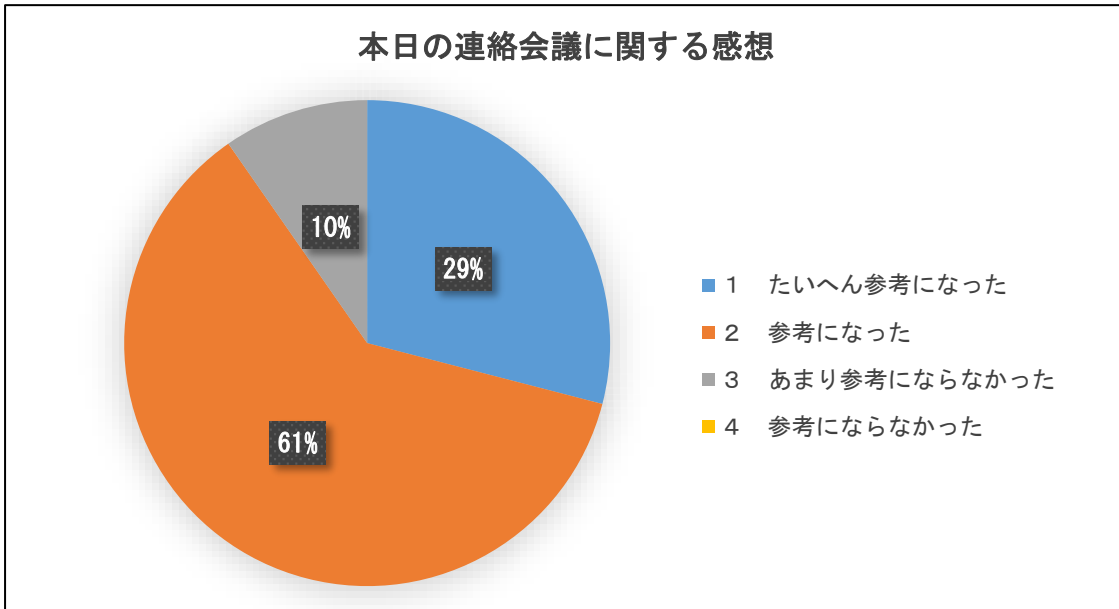
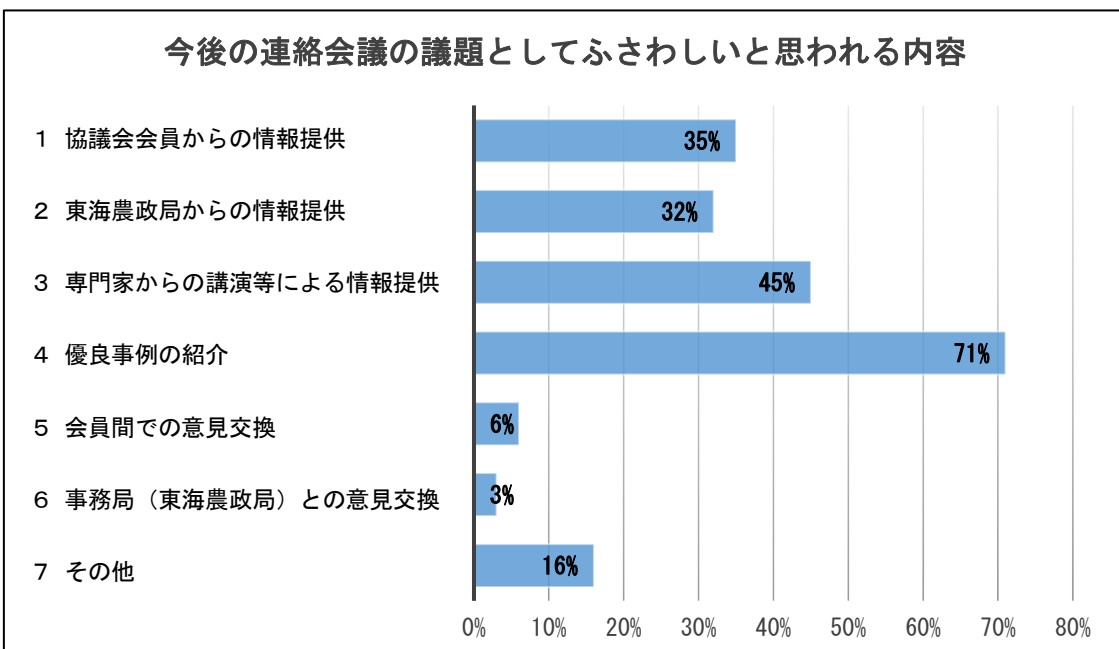


東海地域農林水産物等輸出促進協議会連絡会議アンケート結果  
(アンケート回収率：69%)

問1 本日の連絡会議に関する感想について



問2 今後の連絡会議の議題としてふさわしいと思われる内容について

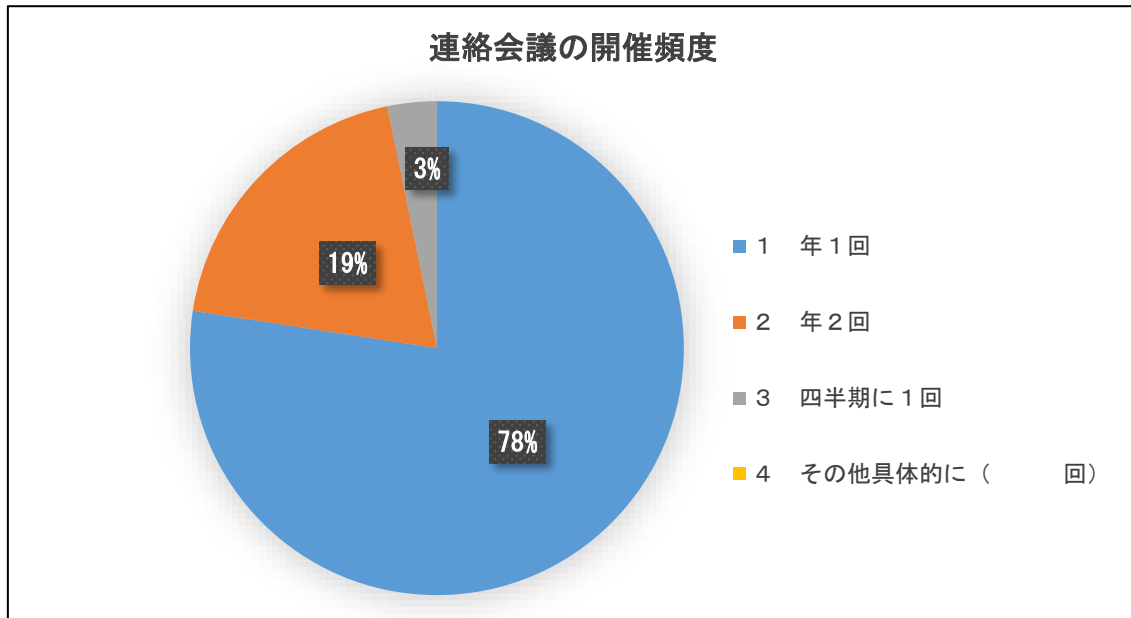


7 その他

- ・ 失敗事例も今後の参考になるのでは。
- ・ 関係機関からの情報提供は良かった。
- ・ 単なる事例紹介に止まらず、豊橋市のプレゼンで少し触れられたように困り事、課題とその克服方法等を共有できる内容が良いのでは。
- ・ 前半の活動報告、情報提供は資料配付で十分ではないか。

- ・輸出してもうかっている産地、事業者の紹介。
- ・事例紹介、特に失敗して成功に転じた情報が参考になった。

### 問3 連絡会議の開催頻度について



### 問4 その他（連絡会議に関するご意見）

- ・各県の報告も良かったが、断片的な情報となっており、どのような取組がされているのか。全体像がわかる資料をまとめていただくと良いのでは（マトリックスで）。そうすることで横の連携、展開につながると思います。
- ・国が輸出拡大に向けて色々な制度を用意していること、金額ベースで輸出が増えていることはわかった。しかし、それで東海の農業、農村が潤ったのか、農家所得が向上したのかという点が気になる。次回以降はそのような分析をしていただきたい。
- ・輸出を支援するためJA、全農、連合会に活動補助金を創設してほしい。そのような補助事業があれば、生産者（農業法人）や地域の輸出を推進することになり、輸出額の伸長、生産者の所得向上になると思われる。
- ・連絡会議が例えばプラットフォームとなったテストマーケティングなどの機会があると良い。連携の輪を広げる事業があると良い。また、農産物のテスト船便や鮮度保持テストも取り組めると有り難い。
- ・最終的には民間事業者が主体的に自立して取り組んでいくべきだと思っている。できるだけ民間事業者が自立した取組の事例紹介を聞きたい。